

便ヲ得セシムル爲ニウエツテ、フレイムヲ用ルヲ要セザル構造法ヲ述ケリト云フ

○西比利亞鐵道 上海ヨリノ通信ニヨレバ魯西亞政府ニテハトムスク、ストラテンスク及

浦攪斯德ノ三ヶ所ニ於テ同時ニ鐵道ノ敷設ニ着手スルノ目的ヲ以テ大ニ其準備ヲ初メタリ

○汽船ノ烟筒ノ高サ フシネガ ゼー、マックフ、ハー、レイ、ン、グ、レ、ー、氏ハ自然通風ヲ用フル汽船ノ烟筒ノ

高ヲ定ムルニ極メテ簡略ニシテ實業家ニ適用ス可キ新規則チ設テ其法灰局ニ於ケル壓力

十六分ノ一時毎ニ烟筒ノ高ヲ十呎ニナスニアリ故ニ二分ノ一時ノ壓力ヲ得ルニハ其高サ八

十呎ヲ要スルノ割合ナリ而シテ二分ノ一時ハ通常最モ有効ノ壓力ニシテ機關手ノ話ニヨル

ルハ或ハ四分ノ三吋壓力ノ自然通風ヲ保ツモノアリト雖モ是レ只ダ石炭ノ損消ニヨルモノ

ト知ル可シ

○日米間汽船ノ航通 日本神戸ニ於テハ日本及ビ亞米利加間ノ直輪貿易上ニ大ニ便利ヲ

與ンガ爲ニオレゴン鐵道及汽船會社并ニ太平共同會社ト協力シ神戸及ヒオレゴン洲ノボー

トランドトノ間ニ汽船ノ新航路ヲ開ントスルノ企アリト云フ

○歐洲各國造船ノ數 一千八百八十九年及ビ八十八年兩年間歐洲各國ニ於テ製造セル船

船ノ噸數ヲ比較スルニ左表ノ如シ

|     |            |          |        |       |       |
|-----|------------|----------|--------|-------|-------|
| 英國  | 一八八九年      | 一八八八年    | 那威及ヒ瑞典 | 七、六一九 | 二、五二二 |
| 日耳曼 | 一三、一七〇、三三三 | 九、二二、九九九 | 埃地利    | 六、一七三 | 六、三六六 |
| 佛蘭西 | 九三、二四三     | 三、四、五九二  | 比耳時    | 二、二五〇 | 三、二六一 |
|     | 三〇、九二二     | 二、四、三三七  | 魯西亞    | 五六一   | 七、三五  |